

# 「柿崎病院は現状維持を」 6月議会 平良木議員の一般質問

6月議会で平良木議員は、3月議会に引き続いて地域医療を守る点についてただしました。また、異常な物価高に対応する市独自の手立てに関し、給食費の無料化や国保税の引き下げなどを求めました。

## 柿崎病院の現状維持に積極性示さず

中川市長は、3月議会で「柿崎病院は現状維持を貫くことで県とは調整していきたい」と答弁しながら、その後の記者会見では、規模縮小について言及しています。

平良木議員はこの矛盾に触れ、真意をただしました。

市長は、「柿崎病院は引き続き県による運営体制の維持存続を求めていく」としながらも、「人口構成や医療需要の変化で各病院の担うべき医療機能が再編されることはあり得ると認識している」と述べ、現状維持を求める姿勢は明確には示しませんでした。

そこで、平良木議員が重ねて「広い地域で救急を担うには、現在の機能を維持することが大事。柿崎病院でも2次救急は維持するという姿勢に立つべきではないか」とただしました。

これに対して市長は、「現時点では、現状のまま維持するというを基準にしながら考えている」と答えました。

**日本共産党上越市議員団ニュース**  
No.755 2022年7月24日  
連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))



## 市民負担軽減も消極的

物価対策で平良木議員は、「提案される補正予算も重要だが、それにとどまらない対策を緊急に打つべきだ。市でできることとして、学校給食費と国民健康保険税の引き下げをすべきではないか」とただしました。

これに対して市当局は、「国保税は10年間税率を据え置いているほか、低所得者への軽減措置を行っている。税率引き下げや軽減は考えていない」「学校給食費は、経済的に就学困難な児童生徒には就学援助制度等で対応しており、一律引き下げは考えていない」「当市では給食費は一般会計の歳入として扱っているため、材料費が物価高騰で上がっていけば一般会計の中で補正し、実質物価高騰分を値下げしてる云々」などと答えました。

平良木議員は、「小手先のことでなく、政策的観点から家計の負担を下げたい、検討してほしいと言っている」と重ねて強調しました。

しかし市長は、「物価高騰対策については、まずは低所得の方々に支給していくという方針を進めていこうと考えている」と答えるにとどまりました。

# 「現実踏まえた対等求めよ」 6月議会 橋爪議員の一般質問

6月議会で橋爪議員は、昨年と今年の豪雪に対する国の姿勢が後ろ向きになってきていることを指摘し、市の対応をただしました。また、(株)よしかわ杜氏の郷の民間譲渡問題についてただしました。

## 「柔軟な救助受けられるよう求める」

豪雪問題で橋爪議員は、「災害救助費の対象について、国に対して『豪雪地の現実を踏まえた対応』を求めるべきではないか」「災害救助法の適用は、2020年度までの対応を基本に頑張るよう県に働きかけるべきではないか」とただしました。

中川市長は、「国が示した除雪例では、住宅が壊れ始めていないと救助対象にならないような例示がされている。国は次回の改定で雪害に関する追加の事例を示す予定だとのことである」「市としては、4月に行われた災害救助費県負担金の完了検査の場で、豪雪地の実態を十分に考慮した柔軟な救助を受けられるよう直接伝えた他、必要に応じて市長会などの機会に国や県に働きかけていく」と答えました。

## 「吉川の気持ちを考えて」と訴え

(株)よしかわ杜氏の郷の経営について、橋爪議員は、「役員体制の強化や施設・設備の更新などはどうなっているか」「製造原価等の見直し、中長期的なビジョンの策定はできたのか」「民間譲渡を第一候補として具体的な手続きを進めることについて、到達点はどうなっているか」とただしました。

市長はこのことに関し、「昨年12月の議会



委員会調査で、現体制のまま中長期的なビジョンを持ちつつ、経営を担っていくことの難しさなどを説明した。さらに、対応策として、民間譲渡を第一候補として具体的な手続きを進めることを表明した。この間の進捗や検討内容は、今後の委員会調査で説明する予定である。また、販売価格の適正化や高付加価値な商品の開発、利益率が高い同社店舗での販売強化などを実施したことにより、令和3年度決算では製造原価率が改善する見通しである」と答えました。

橋爪議員は、特に民間譲渡について「昨年の委員会調査で、『まずは地元企業への譲渡の可能性を探りたい』と述べたことを指摘し、「譲渡にあたっては、会社の設立目的が最大限達成されるよう努力してほしい」と訴え、尾瀬あきらの漫画『夏子の酒』を紹介しながら、「杜氏の郷である吉川は、かつては何百人もの人が酒造りの出稼ぎに出かけた町。春を待つ気持ちがものすごく強い町。この吉川の思いを最大限尊重して(民間譲渡に)取り組んでほしい」と訴えました。

これに対して市長は、「私も読んで涙した。地元の気持ちを想像しながら考えている」と答えました。